

## 第53回 箕面市地域公共交通活性化協議会 会議録

### 1. 日時

令和5年3月30日（木） 午後10時00分～午前11時00分

### 2. 場所

箕面市役所本館 3階 委員会室

### 3. 出席者

#### (会長)

- ・箕面市副市長 柿谷武志

#### (副会長)

- ・箕面市地域創造部長 小山郁夫

#### (委員)

- ・富山大学都市デザイン学部都市・交通デザイン学科准教授 猪井博登
- ・大阪大学大学院工学研究科助教 葉健人
- ・阪急電鉄株式会社都市交通事業本部都市交通計画部部長 中村規彦
- ・北大阪急行電鉄株式会社常務取締役延伸事業部長 岩元仁
- ・阪急バス株式会社自動車事業本部営業企画部部長 野津俊明
- ・一般社団法人大阪タクシー協会専務理事 井田信雄
- ・阪急バス労働組合副執行委員長 石崎宏司
- ・みのおの交通を考える会の代表 永田よう子
- ・オレンジゆずるバス再編検討分科会副分科会長 藤井健三
- ・箕面商工会議所副会頭 松出末生
- ・大阪船場繊維卸商団地協同組合専務理事 寺本正満
- ・東急不動産 SC マネジメント株式会社みのおキューズモール総支配人 大門康弘  
(代理出席) リーダー 藤田匡
- ・国土交通省近畿運輸局交通政策部交通企画課長 酒井大斗 (オブザーバー)  
(代理出席) 専門官 原田誠
- ・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官 (総務企画) 中西克之
- ・国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局首席運輸企画専門官 (輸送) 酒井敏一
- ・大阪府都市整備部交通戦略室交通計画課長 岡部哲久  
(代理出席) 総括補佐 東野亨太
- ・大阪府池田土木事務所参事兼地域支援・企画課長 看舎邦亮
- ・大阪府箕面警察署交通課長 大江幸子
- ・箕面市市政統括監 岡本秀
- ・箕面市健康福祉部長 北村清
- ・箕面しみどりまちづくり部長 藤田豊

#### (欠席)

- ・大阪大学大学院工学研究科教授 土井健司

- ・大阪モノレール株式会社総務部経営戦略室長 石橋宏章
- ・箕面市身体障害者福祉会会長 羽藤隆
- ・国土交通省近畿運輸局自動車交通部旅客第一課長 本田泰彦（オブザーバー）
- ・国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所管理第二課長 向井博也
- ・箕面市教育委員会子ども未来創造局長 岡裕美

以上、委員27名のうち22名出席、オブザーバー1名出席

#### 4. 議 題

- (1) 規約・規程の改正（案）について
- (2) 令和4年度予算の補正（案）について
- (3) 令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
- (4) オレンジゆずるバスの運行状況について
- (5) ルート再編に伴うバスロケーションシステム及びデジタルサイネージの更新について
- (6) オレンジゆずるバスの待合環境の改善（上屋・ベンチの整備）について
- (7) その他

オレンジゆずるバス再編計画（素案）にかかるパブリックコメント及び市民説明会の開催状況について

#### 5. 議事要旨

- (1) 規約・規程の改正（案）について

【原案どおり承認する。】

【意見・質疑なし。】

- (2) 令和4年度予算の補正（案）について

【原案どおり承認する。】

【意見・質疑なし。】

- (3) 令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

【原案どおり承認する。】

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○バスロケーションシステムおよびデジタルサイネージの再構築、上屋やベンチの設置については期待するが、みんなで支え合うバスということで、上屋やベンチへの広告掲載等についても、バスに乗らなくても支えることになるため、難しいと聞いてはいるが引き続き検討いただきたい。

→上屋・ベンチへの広告掲載は難しいと聞いているが、どのような方法があるか引き続き検討していくとともに、その他の収入が確保できる方法についても引き続き検討していく。

→上屋やベンチに広告を掲載している事例もあるため、掲載が難しいのであれば、実際に掲載している事例との差異を整理することや、例えば府道が難しいのであれば、箕面市の市道であればどうかなど、道路管理者と十分に協議・調整してほしい。

○公共交通再編に対する周知広報が支出費用として計上されているが、どのように考えているか。

→現在、転入者に対してバスマップ・オレンジゆずるバス時刻表の配布を行っているが、再編に伴い、適切なタイミングで市広報紙に同封するなどして全戸配布を行うことを検討している。また、広報紙自体にも適切なタイミングで記事を掲載する方向で調整している。

→利用者への周知の観点から、バス車内での広報掲示等も含めて検討していきたい。

○新たな収入の観点から、ふるさと納税にオレンジゆずるバスの回数券や、運行当初に配布したようなオレンジゆずるバスのオリジナルグッズを掲載するなどは考えられないか。

→オレンジゆずるバス回数券については返礼品として掲載している。オリジナルグッズについては、担当部局含め、改めて検討していく。

#### (4) オレンジゆずるバスの運行状況について

【意見・質疑なし。】

#### (5) ルート再編に伴うバスロケーションシステム及びデジタルサイネージの更新について

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○阪急バスのバスロケーションシステムについて、健常者については非常にわかりやすいものとなっている。一方、視覚障害があるかたについても、時報を利用するなど、スマートフォンを活用するケースが増えている。バスロケーションシステムの利用においてはバスの接近情報など、重要な情報が読み上げソフトの対応が難しいなど障害者への対応が難しいと思慮するが、障害者へ配慮した対応ができないか。また、外国人のかたへの対応についても、デジタルサイネージでの対応が難しい場合もホームページへ誘導するなどの配慮した対応ができないか。

→実現可能かも含めて、バスロケーションシステム会社とも相談しながら、今後の研究課題とさせていただきます。

○デジタルサイネージやバスロケーションシステムにおいて、オレンジゆずるバスと阪急バスの情報が一元的に確認できるようになると便利にはなると思うが、情報過多となりわかりにくいとなることも憂慮する。特に高齢者にとっては、自分の乗るバスがわかるということが重要で、利用者のそういった視点からもデジタルサイネージやバスロケーションシステムの表示を検討いただきたい。

→様々な情報を表示することで利便性が高くなると考えていたが、情報過多となると、わかりにくくなる側面もある。今後、どういうものがより良いか、利用者の視点に立ち、検討を進めていきたい。また、バスロケーションシステムについては、広報媒体にその使い方を掲載するなど、利用者にとってわかりやすい広報をすることについても検討していく。

→阪急バスのバスロケーションシステムに統合することにより、オレンジゆずるバスと阪急バスが共用するバス停では両方の接近情報が表示されると思慮するが、例えばオレンジゆずるバスの色を変えるなど、工夫してわかりやすい表示をして欲しい。システム関連の制約もあると思うので、阪急バスとも調整しながら検討を進めて欲しい。

## (6) オレンジゆずるバスの待合環境の改善（上屋・ベンチの整備）について

【意見・質疑応答は次のとおり。】

○上屋やベンチの設置について、歩道幅員が確保できる場所に設置するとのこと、歩道幅員が確保されている箇所には歩道に自転車レーンが設置されている場合もある。自転車通行との安全性等も考慮して検討して欲しい。

→設置に当たっては、幅員だけでは無く安全性も考慮し、道路管理者や交通管理者とも調整しながら進めていく。

→自転車通行について、あくまで歩道になるため、バスを待つかたの優先順位が高いと考える。自転車通行の表示を消すなど、どのように周知するかなども含めて検討して欲しい。

○オレンジゆずるバスは路線バスを補完する位置づけであり、路線バスに乗り継ぐことにより公共交通のカバー範囲を拡げるという観点もあると考える。その乗り継ぎを行う地点においては待合環境が非常に重要となる。路線バス、オレンジゆずるバス、北大阪急行との連携がより可能となるよう、優先順位をつけ、交通結節点を中心に整備を進めていただきたい。

→ベンチについては、設置可能なバス停において、調整出来次第、順次整備していく予定である。

上屋の整備については、一定基準を設けて設置していくが、ご意見のとおりオレンジゆずるバスと路線バスが共用するバス停に対して優先的に進めていきたい。

→オレンジゆずるバス同士の乗り継ぎも含め、乗り継ぎ地点での待合環境は非常に重要。歩道幅員がない地点においても、例えば民地の活用であったり、近くの公共施設を利用するなど含めて検討して欲しい。

○幅員については、自歩道の場合やバリアフリーの設定などの関係で、必要な幅員が決まっている。

そういった点も加味しながら引き続き協議いただきたい。先にご意見のあったベンチやバス停上屋への広告掲載については、池田土木事務所管内で広告を許可しているところはないが、大阪市で取り組まれている事例があるとのことなので、その許可条件等を確認いただき協議願いたい。

## (7) オレンジゆずるバス再編計画（素案）にかかるパブリックコメント及び市民説明会の開催状況について

【意見・質疑なし。】

以上